

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月5日

上場会社名 株式会社 ヨータイ
 コード番号 5357 URL <http://www.yotai.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 四宮 和生
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 江波 二郎
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月9日

上場取引所 大

TEL 072-430-2100

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	16,655	—	973	—	1,073	—	434	—
20年3月期第3四半期	14,319	1.5	629	32.6	706	26.7	410	45.1

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第3四半期	19.21	—	—	—
20年3月期第3四半期	18.16	—	—	18.11

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
21年3月期第3四半期	25,716	—	14,165	—	55.1	—	626.27	—
20年3月期	24,491	—	14,490	—	59.2	—	640.47	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 14,165百万円 20年3月期 14,490百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円	円	円	円	円
20年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
21年3月期	—	5.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	21,000	8.0	880	8.3	950	10.2	560	22.7	24.76	—

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	25,587,421株	20年3月期	25,587,421株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	2,968,882株	20年3月期	2,962,998株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	22,621,059株	20年3月期第3四半期	22,627,489株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融危機や急激な円高・株価の下落等により企業業績が悪化するなど、景気の悪化が一段と鮮明となりました。

このような経済環境のもとで、当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績については、活発な受注活動により売上高は166億55百万円となり、売上原価は、原料および燃料の高騰によるコストアップを吸収すべく原価削減に努めたこと等により、139億87百万円となりました。

この結果、売上総利益は26億67百万円となり、販売費及び一般管理費16億94百万円を差引いた営業利益は9億73百万円となりました。

営業外損益については、営業外収益は1億60百万円、営業外費用は60百万円となりました。

この結果、経常利益は10億73百万円、税金等調整前四半期純利益は8億81百万円、四半期純利益は4億34百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、257億16百万円であり、前連結会計年度末に比べ12億24百万円増加しました。これは主として、受取手形及び売掛金、たな卸資産の増加によるものであります。

負債は、115億51百万円であり、前連結会計年度末に比べ15億49百万円増加しました。これは主として、短期借入金増加によるものであります。

純資産は、141億65百万円であり、前連結会計年度末に比べ3億24百万円減少しました。これは主として、その他有価証券評価差額金の減少によるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は55.1%となり、財政状態は概ね良好であると判断しております。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

本資料に記載されている業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として月次総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として月次総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これに伴う、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	938,418	1,113,082
受取手形及び売掛金	10,209,241	8,783,292
有価証券	400	—
製品	2,788,989	2,580,998
原材料	2,764,291	1,753,149
仕掛品	508,650	544,736
その他	395,080	392,815
貸倒引当金	△1,800	△1,800
流動資産合計	17,603,271	15,166,274
固定資産		
有形固定資産	5,508,731	5,897,685
無形固定資産	81,122	107,700
投資その他の資産		
投資有価証券	2,297,392	3,092,888
その他	364,097	318,071
貸倒引当金	△138,083	△90,676
投資その他の資産合計	2,523,406	3,320,284
固定資産合計	8,113,260	9,325,669
資産合計	25,716,531	24,491,944

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,884,602	2,851,222
短期借入金	4,700,000	2,850,000
未払法人税等	216,923	209,938
役員賞与引当金	16,920	22,600
その他	1,438,892	1,325,512
流動負債合計	9,257,338	7,259,272
固定負債		
長期借入金	600,000	600,000
退職給付引当金	1,257,539	1,313,946
その他	436,259	828,411
固定負債合計	2,293,798	2,742,358
負債合計	11,551,137	10,001,631
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,654,519	2,654,519
資本剰余金	1,750,465	1,750,465
利益剰余金	9,586,066	9,377,786
自己株式	△520,377	△518,921
株主資本合計	13,470,675	13,263,850
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	521,438	1,044,841
繰延ヘッジ損益	△5,662	△2,221
為替換算調整勘定	178,942	183,842
評価・換算差額等合計	694,718	1,226,462
純資産合計	14,165,394	14,490,313
負債純資産合計	25,716,531	24,491,944

(2)【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	16,655,666
売上原価	13,987,946
売上総利益	2,667,720
販売費及び一般管理費	1,694,081
営業利益	973,638
営業外収益	
受取利息	10,380
受取配当金	51,126
デリバティブ評価益	52,228
その他	46,892
営業外収益合計	160,627
営業外費用	
支払利息	35,432
為替差損	22,162
その他	3,384
営業外費用合計	60,978
経常利益	1,073,287
特別利益	
投資有価証券売却益	1,468
特別利益合計	1,468
特別損失	
投資有価証券売却損	34
投資有価証券評価損	34,823
固定資産除却損	2,493
ゴルフ会員権評価損	180
減損損失	155,383
特別損失合計	192,915
税金等調整前四半期純利益	881,840
法人税、住民税及び事業税	405,000
法人税等調整額	42,341
法人税等合計	447,341
四半期純利益	434,499

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	881,840
減価償却費	621,831
減損損失	155,383
貸倒引当金の増減額(△は減少)	60,911
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△56,407
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,680
受取利息及び受取配当金	△61,506
支払利息	35,432
固定資産除却損	2,493
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,434
投資有価証券評価損益(△は益)	34,823
売上債権の増減額(△は増加)	△1,428,423
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,189,225
仕入債務の増減額(△は減少)	9,330
その他	△49,654
小計	△990,284
利息及び配当金の受取額	61,423
利息の支払額	△35,432
法人税等の支払額	△381,861
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,346,154
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△342,628
投資有価証券の取得による支出	△106,343
投資有価証券の売却による収入	1,828
投資活動によるキャッシュ・フロー	△447,143
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,850,000
自己株式の取得による支出	△1,455
配当金の支払額	△222,937
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,625,607
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,972
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△174,663
現金及び現金同等物の期首残高	1,113,082
現金及び現金同等物の四半期末残高	938,418

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」

前年同四半期に係る財務諸表等

(要約) 四半期連結損益計算書

科 目	前年同四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
	金額(百万円)
I 売上高	14,319
II 売上原価	12,151
売上総利益	2,168
III 販売費及び一般管理費	1,539
営業利益	629
IV 営業外収益	107
V 営業外費用	31
経常利益	706
VI 特別利益	—
VII 特別損失	0
税金等調整前四半期純利益	705
税金費用	294
四半期純利益	410